

みやづ産業フェスタに大江山製造所が出展しました

先日、10月20日(日)に京都府宮津市の市民体育館において開催された「第二回みやづ産業フェスタ」に当社大江山製造所が初出展しました。当日は宮津市内から97の店社・団体の参加があり、地元製品の販売、コンサート、麻薬探知犬の実演等があり、多くの人で賑わいました。

当社は市民体育館内に設けられた自社ブースにおいて、「フェロニッケル」(鉄とニッケルの合金でステンレス鋼の原料となるもの)の製錬工程で副次的に生産される微粒状の砂である「ナスファインサンド」(本年6月にJIS制定)の現物を紹介。

また、宮津市と当社の連携により、使用済みの「使い捨てカイロ」の資源化を進めるべく、市内の幼稚園・小中学校・市役所等に設置された回収箱で集めた「使い捨てカイロ」を、大江山製造所において鉄原料や還元材の一部として活用する取り組み(今冬より実施予定)のPRもおこないました。

当社のブースを訪れた来場者からは、「使い捨てカイロの回収はいつから始めるのか?」「どこに回収箱が設置されるのか?」「どのようにして使い捨てカイロがステンレスの原料になるのか?」等の質問があり、宮津市民に大きな関心を持っていただいていることを感じることができました。

当社は資源循環型のもづくり会社として環境・社会との共生に努め、地元自治体および地域社会との協働を通じて「持続可能な社会の実現」に貢献してまいります。



会場の宮津市民体育館。多くの来場者で賑わいました。



当社(大江山製造所)のブースでは使い捨てカイロも配布。



ナスファインサンドの上に重機のミニチュアを置き、「リアリティ」を演出。



ナスファインサンドは粒に細かい穴がたくさん空いており、そこに水分が加わると特異な力学特性により締固め現象が起こります。そのため、軟弱地盤にナスファインサンドを混ぜると、重機の走行基盤も造成できます。